

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

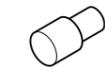
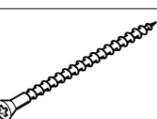
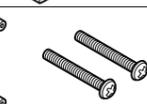
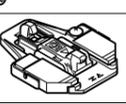
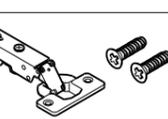
▲注意

- キャビネットが転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
 - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。（厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。）
 - ・必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・組立ての際は、接合部に付属の接着剤を充てんしてください。
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65を指定の本数使用してください。
 - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。
- リフォームなどの場合で栈木位置が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして栈木位置を確認してください。栈木がない場合は、柱・間柱に釘などで栈木を取付けてください。
- アルミ扉の場合、丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

■施工上のお願い

- 壁面（躯体）に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

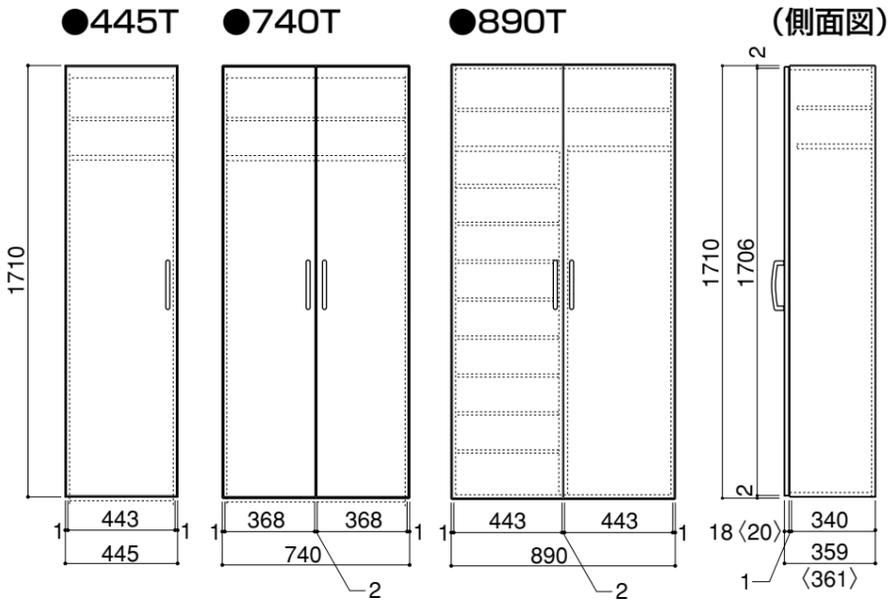
■部材部品一覧表

		部材名	数量			
			445T	740T	890T	
部材	キャビネット	①側板	2	2	2	
		②天板・地板	2	2	2	
		③背板	1	1	1	
		④固定棚	1	1	1	
		⑤中仕切	-	-	1	
		⑥棚板/W413	1	-	-	
		棚板/W419	-	-	8	
		棚板/W708	-	1	-	
		棚板/W858	-	-	1	
	梱包	棚ダボ		4	4	36
		キャビネット連結中仕切固定ねじφ3.5×27（黒）		10	10	13
		躯体取付けねじφ3.8×65		3	3	5
		接着剤		1	1	1
		アーチ型把手セット（取っ手/トラス小ねじM4×25）		1	2	2
部品	丁番座		3	6	6	
	丁番カップ		3	6	6	
	穴かくしキャップ		6	-	-	
	扉	扉/左右兼用	1 (1枚入り1梱包)	2 (1枚入り1梱包)	2 (1枚入り1梱包)	
扉梱包(1枚入り)	部品	丁番セット（丁番/皿小ねじM3.5×12）		3	6	6

※扉梱包の部品セットは、アルミ扉のみ同梱しています。

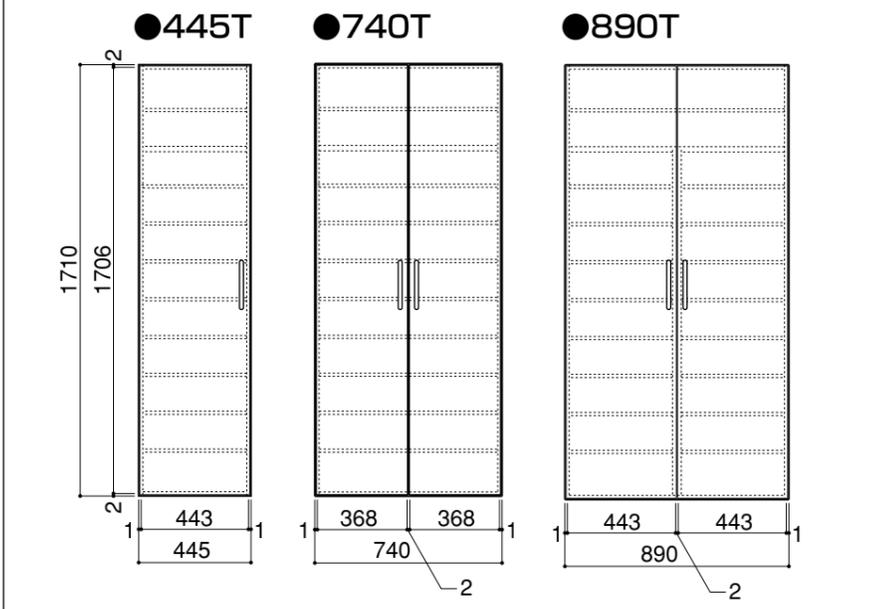
■寸法図

■各部名称

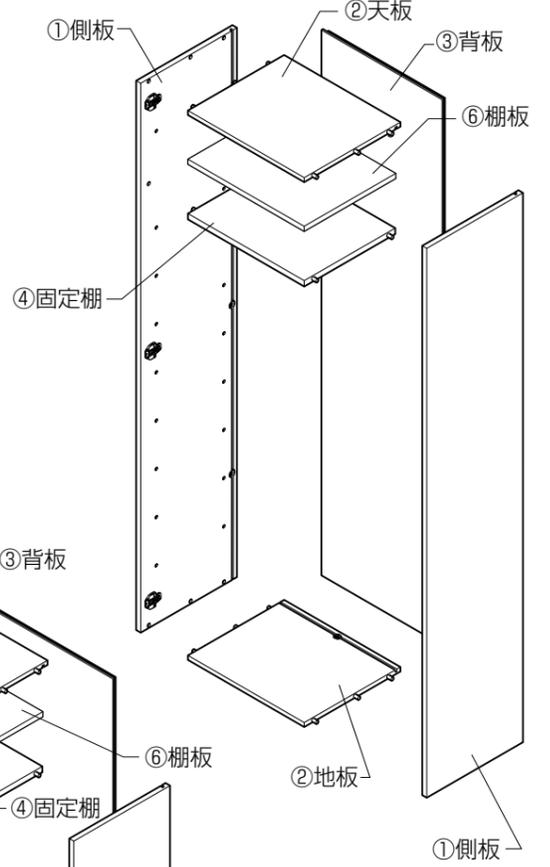


※〈 〉内寸法は、アルミ扉の場合。

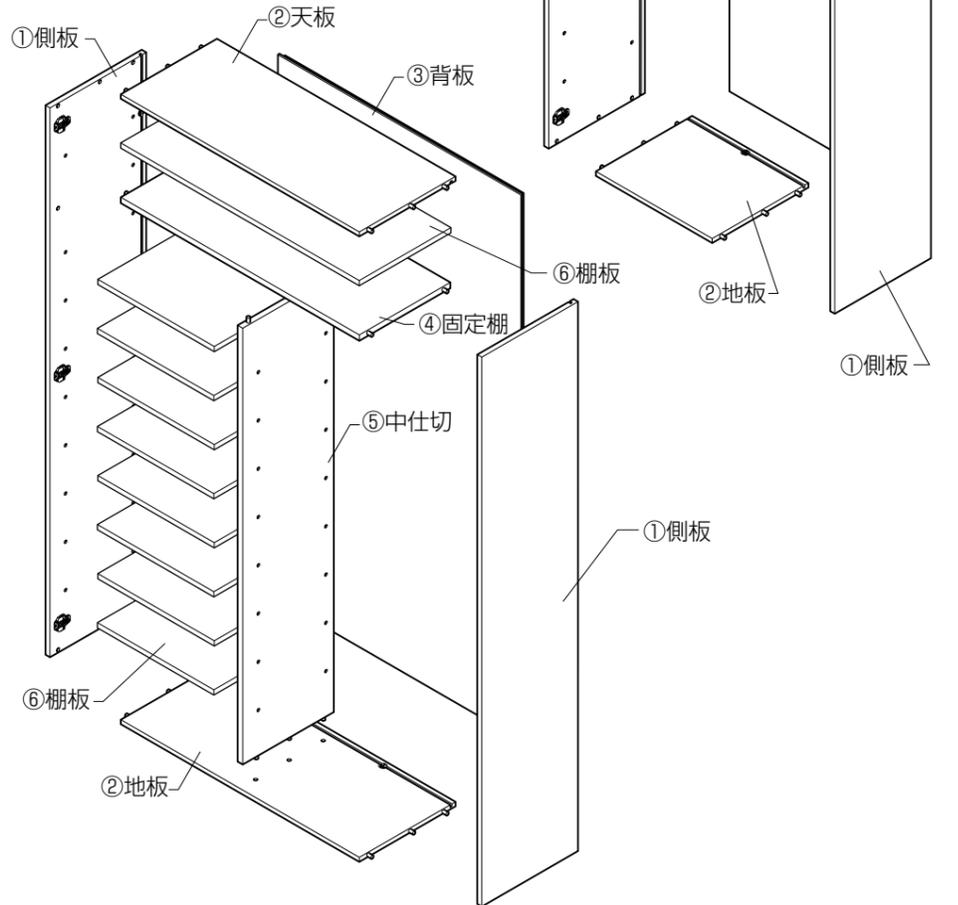
■オプション仕様(追加棚板セット取付け時)



●445T・740T



●890T



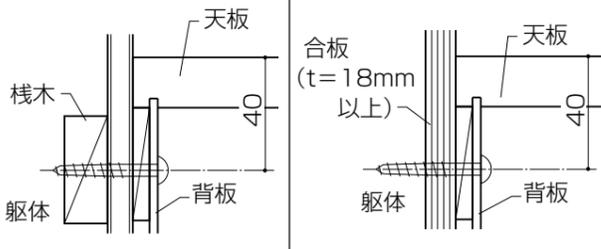
■扉の開閉方向

※左右勝手は、丁番の取付け位置により選択できます。
※扉は左右兼用です。

■据付け前の準備

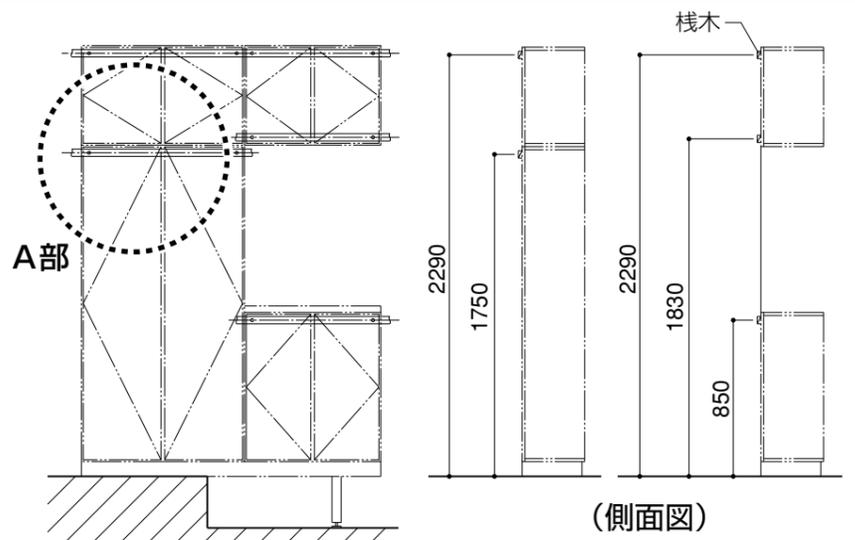
- 据付け場所と上がり框の位置及び、収納セットの左右勝手を確認し、所定の壁面(躯体)に栈木を設置します。(A部詳細図参照)
- ※栈木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- ※合板(t=12mm)のベタ張りでは、吊下げ強度が足りません。必ず、(t=18mm)をご使用ください。

■A部詳細図



▲注意

必ず栈木を設置してください。
転倒のおそれがあります。



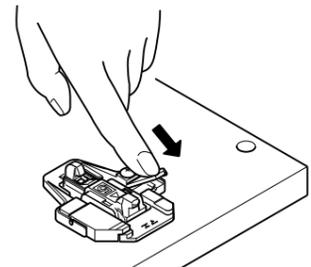
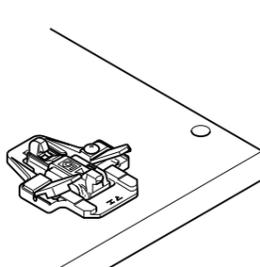
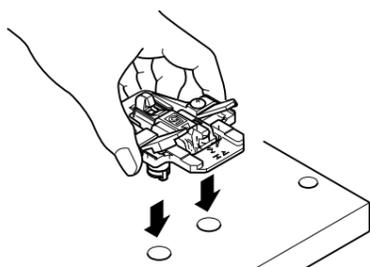
■組立て順序

- ※445Tの場合左右勝手は、丁番座の取付け位置により選択できます。戸先側の側板の丁番座取付け穴は、穴かかしキャップを取付けてください。
- ※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。
- ※本組立ては890Tを示し、445T・740Tには中仕切は付きません。

①側板・中仕切に丁番座を取付けます。

丁番座を側板(中仕切)の加工穴に差込みます。

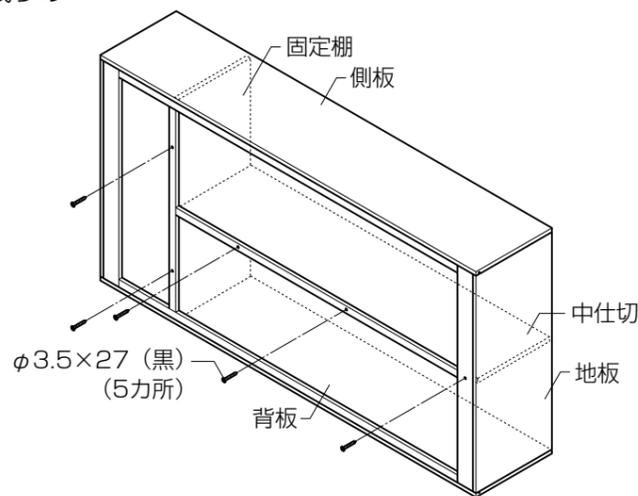
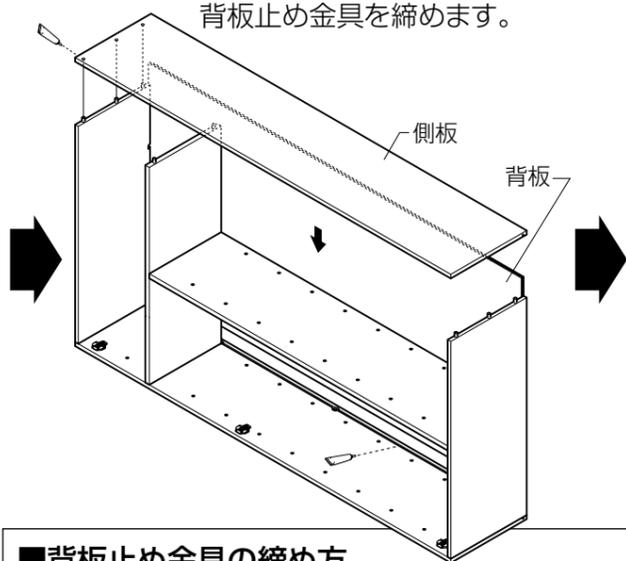
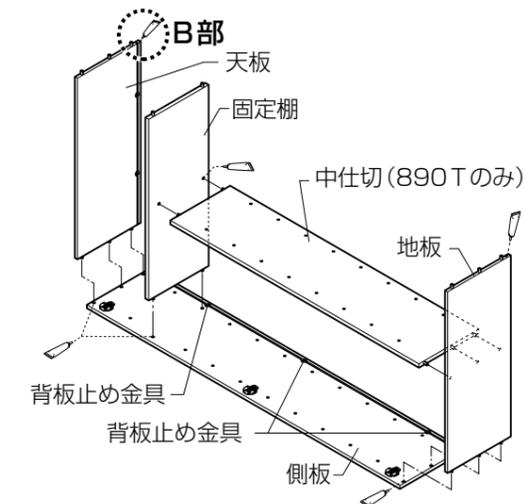
黒レバーをおろして丁番座を固定します。



②固定棚及び天板・地板を片側の側板にはめ込みます。
※890Tは中仕切も組込んでください。

③背板を差し込み、背板止め金具を締めます。
④もう一方の側板を差し込みます。
⑤キャビネットの垂直を確認した後、残りの背板止め金具を締めます。

⑥背板側から固定棚をねじ止めします。
※890Tは中仕切もねじ止めします。



■B部詳細図



注意
●接合部には必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が不足、転倒の原因となります。

■背板止め金具の締め方

※マイナスドライバーで、右回りに締付けます。
側板又は天板・地板

【組立て前】

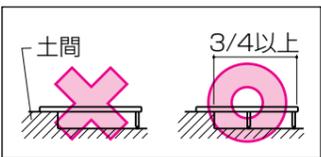
【組立て時】

※この状態で背板を組込んでください。
側板又は天板・地板

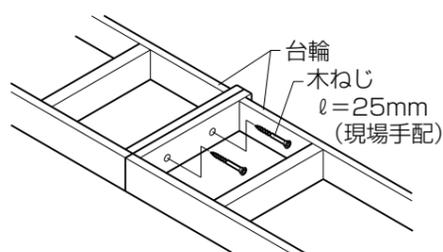
■取付け手順

1 台輪の設置

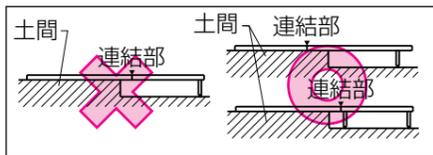
●据付け場所に台輪を置きます。
※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。
※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(2本入り)(別売品)を使用し、足を4本設置してください。



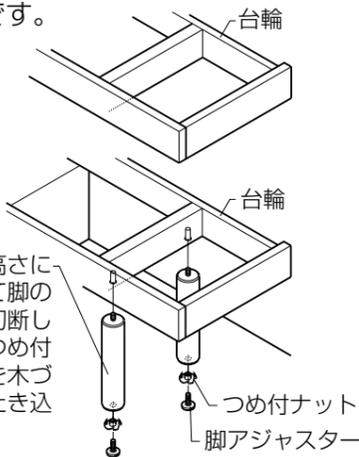
※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(ℓ=25mm)で連結してください。



※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。

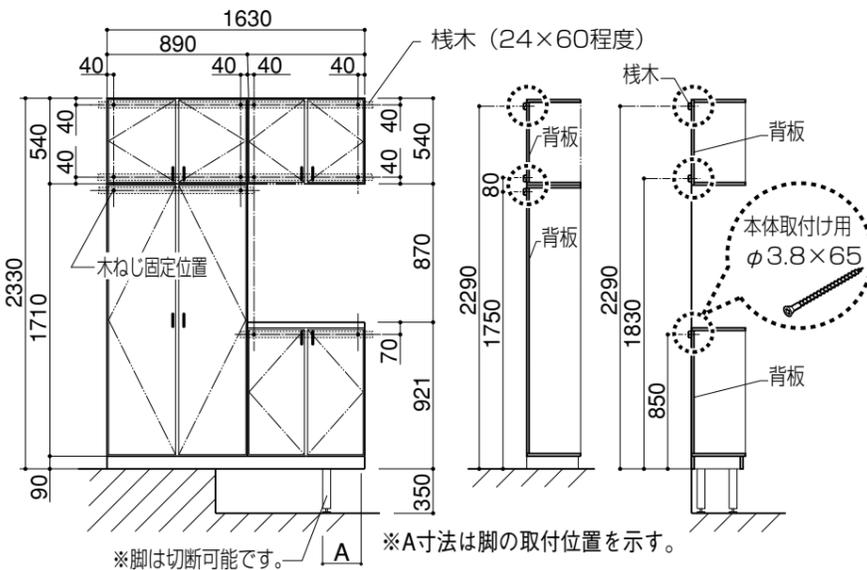


※土間の高さに合わせて脚の下端を切断した後、つめ付ナットを木づちでたたき込みます。

2 壁面への固定

※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら本体取付け用ねじφ3.8×65で壁面(桟木)に固定してください。

注意
●取付けねじは、必ず壁面の桟木又は18mmの合板に固定してください。転倒のおそれがあります。



■脚の取付け位置一覧

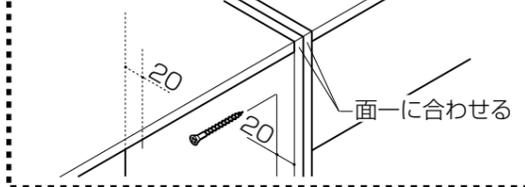
	445	740	890	1185	1335	1480	1630	1780
A	45	45	45	240	45	45	45	240

3 台輪への固定

【キャビネット+キャビネット左右連結】

●キャビネットの側板全面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。

■D部詳細図

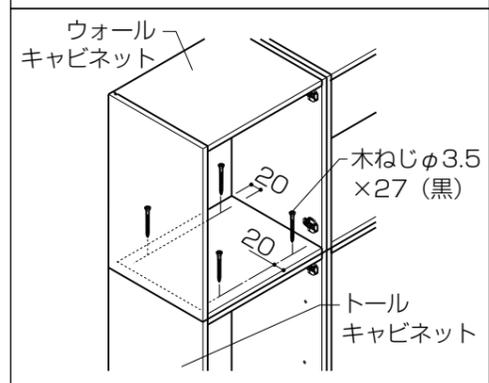
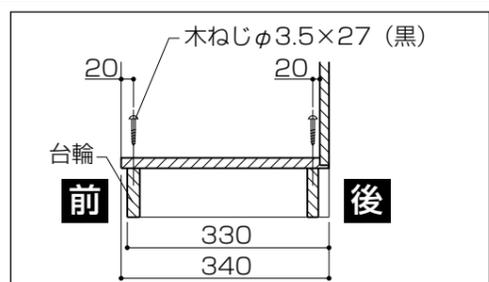
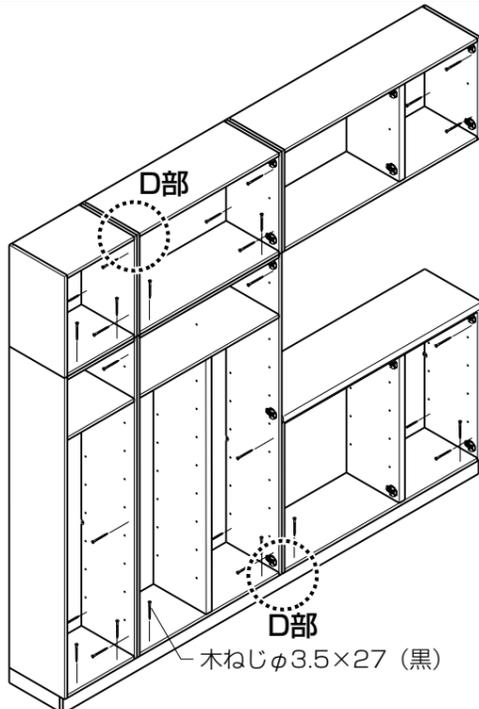


【台輪+各キャビネット連結】

●キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。
※この場合、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

【ウォールキャビネット+トールキャビネット連結】

●ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。



4 扉の取付け

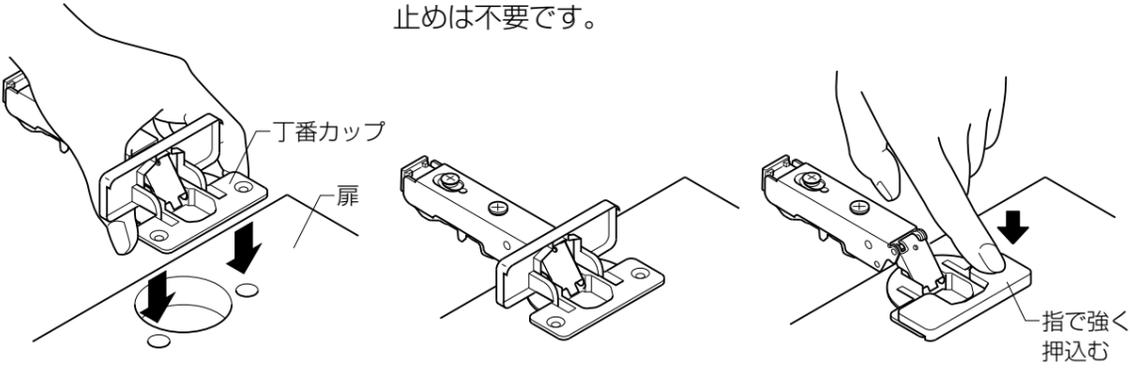
【木扉の場合】

① 丁番カップの取付け

丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。

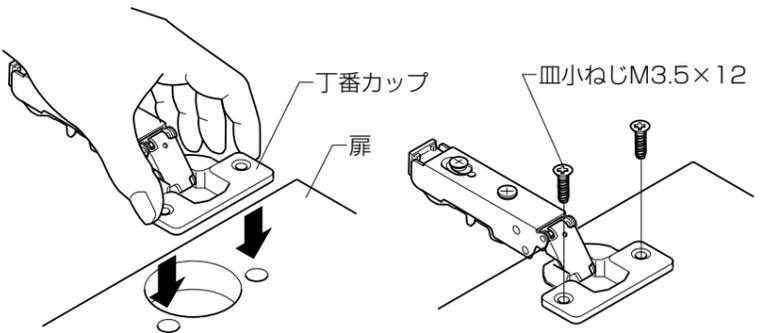


【アルミ扉の場合】

● 丁番カップを扉に差込み、皿小ねじM3.5×12で取付けます。

▲ 注意

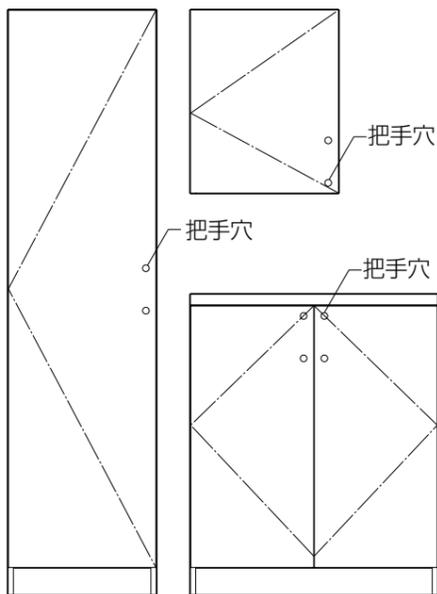
● 丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。



② 扉の左右勝手の確認

● ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手穴が上になります。

● トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



③ 把手取付け穴加工

※ 445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。(アルミ扉の場合は、把手取付け穴加工は不要です。)

※ 把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

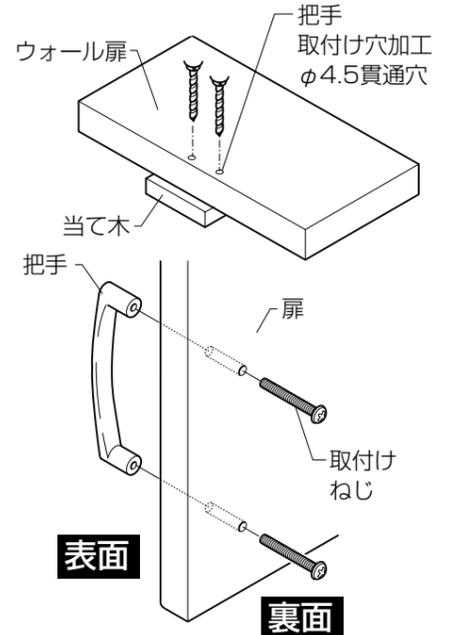
● お願い
※ 当て木をしないうで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

④ 把手の取付け

※ 把手セットはキャビネットに同梱されています。

▲ 注意

● アルミ扉の場合、把手取付けねじは手まわしドライバーで固定してください。強いトルクで締めると、扉のへこみの原因となります。

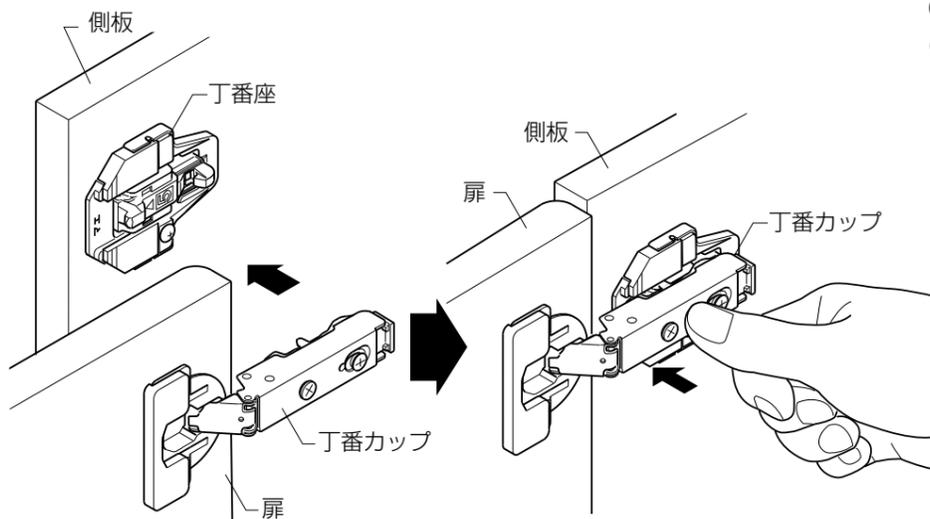


⑤-1. 扉の取付け方

▲ 注意

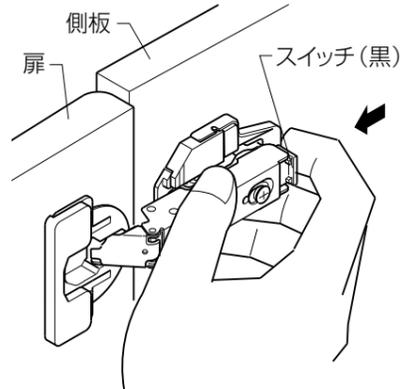
● 扉を本体に取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※ 扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。



⑤-2. 扉の外し方

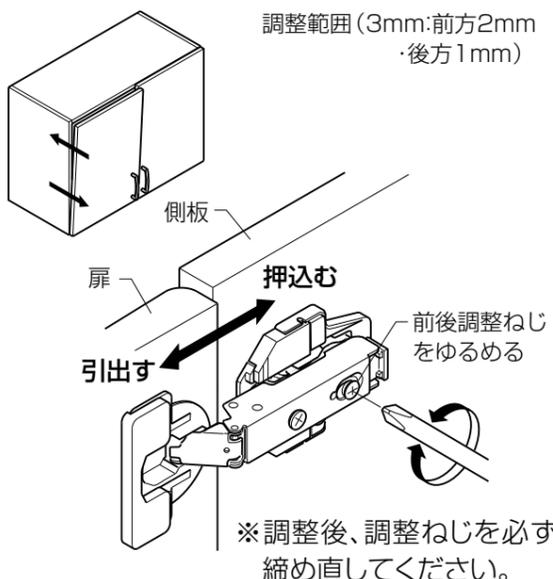
● 扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



■ 扉の調整

前後調整

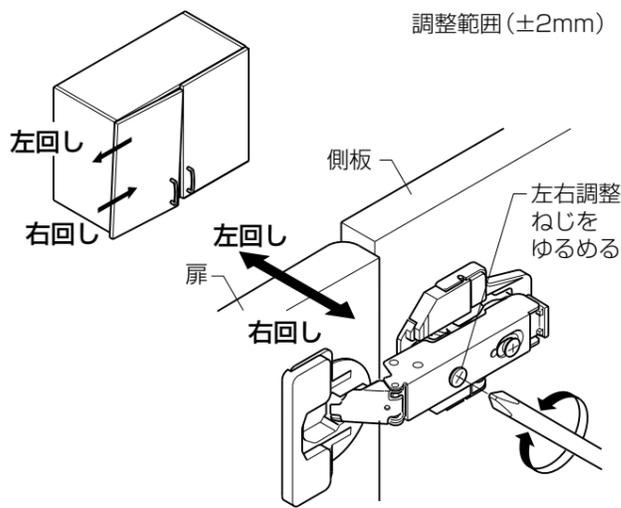
調整範囲 (3mm:前方2mm・後方1mm)



※ 調整後、調整ねじを必ず締め直してください。

左右調整

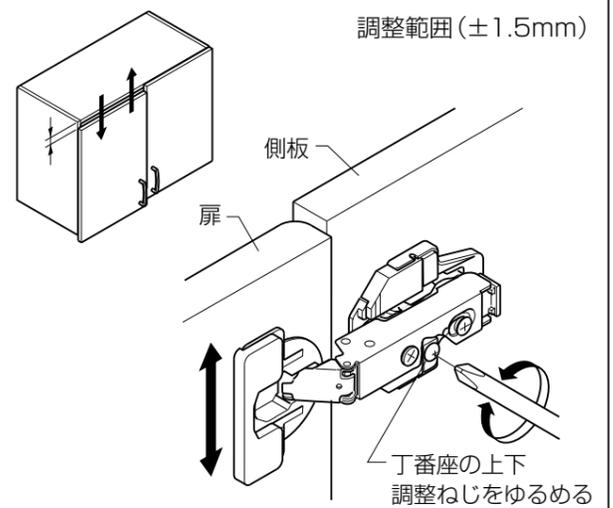
調整範囲 (±2mm)



※ 調整範囲を超えてねじ込まないでください。

上下調整

調整範囲 (±1.5mm)



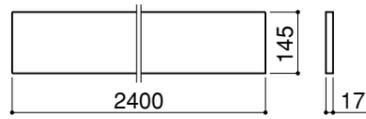
※ 調整後、調整ねじを必ず締め直してください。

■オプション部品の取付け

【天井幕板・開口調整材】

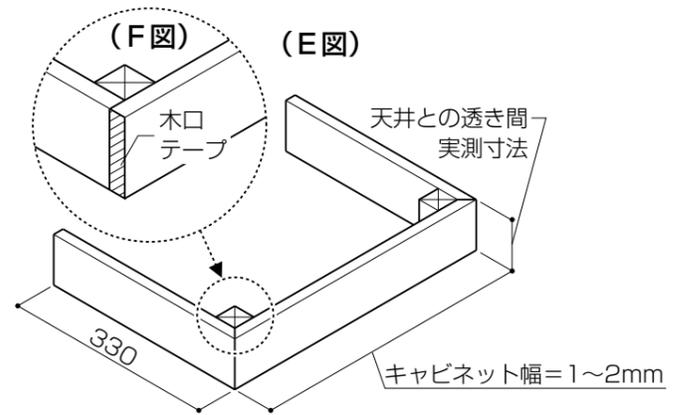
- ※扉より先に取付けてください。
- ※どちらも、現場加工用化粧板を使用します。
- ※天井幕板と開口調整材を併用する場合は、両者を面一に合せてください。

●現場加工用化粧板

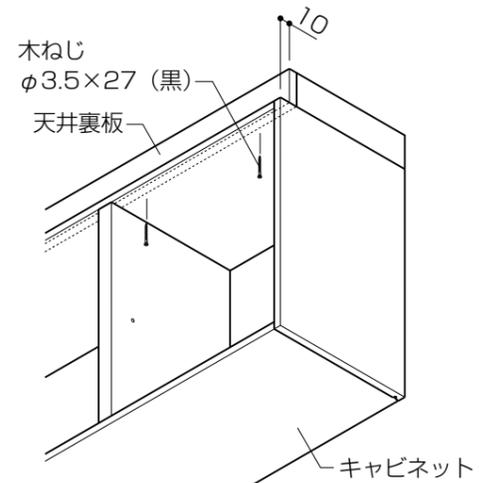


■天井幕板

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、組立てます。(E図又はF図)
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



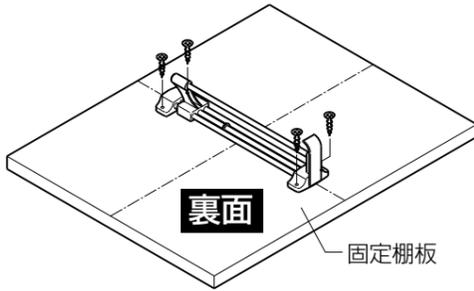
- ③キャビネットの内側からねじ止めします。



■ハンガー

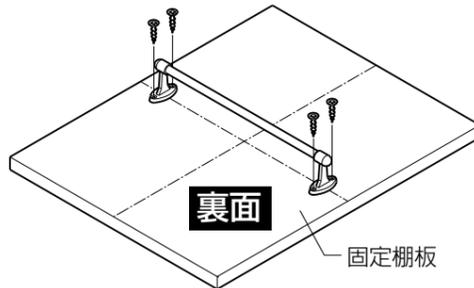
【スライドコートハンガー】

- 固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



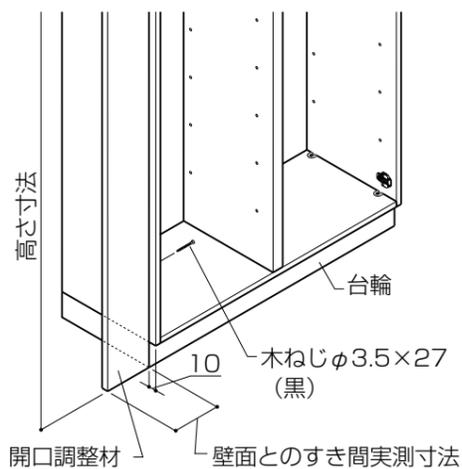
【ブーツハンガー】

- 固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



■開口調整材

- ①実測寸法にもとづいて化粧板を加工します。
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



■小物掛けフック

- ※アルミ扉には取付けられません。
- ダボ穴へ、付属のねじ(ℓ=13.5mm)で取付けます。

